

北のひろめ〜る

平成23年5月27日
発行：釧路警察署
交通課
電話：0154-23-0110
第18号

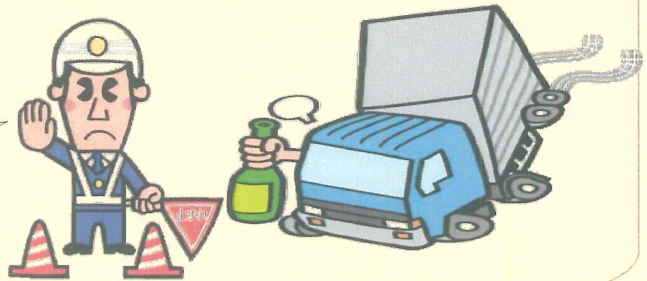
後を絶たない飲酒運転!!

釧路警察署管内の飲酒運転摘発状況 (逮捕事案も含む)

1月	4	件
2月	1	件
3月	1	件
4月	2	件
5月	2	件

(5月26日現在)

飲酒運転は
犯罪
です!!



飲酒運転
根絶
飲酒運転取締り
強化中



飲酒運転には厳しい処分が!

酒酔い運転

無条件で

35点 欠格期間3年

免許取消し

呼気中アルコール濃度
0.25mg/l以上

25点 欠格期間2年

酒気帯び運転

▶▶

免許取消し

呼気中アルコール濃度
0.15mg/l以上0.25mg/l未満

13点

免許停止 90日

「全道」6月中の死亡事故実態（過去5か年）

警察本部交通企画課

1 過去5か年の交通事故状況（平成18年～22年）

区分\年別	18年	19年	20年	21年	22年	合計	平均
人身事故発生件数	1,955	1,908	1,608	1,493	1,398	8,362	1,672
死者数	14	16	27	14	15	86	17.2
人身事故500件あたりの死者数	3.6	4.2	8.4	4.7	5.4	—	5.1
全国 人身事故500件あたりの死者数	3.2	3.0	3.1	2.9	3.0	—	3.1

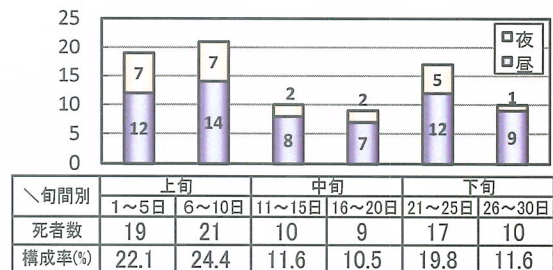
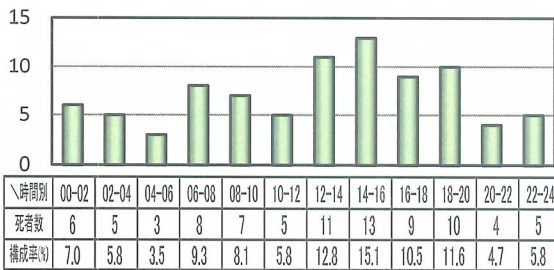
○ 全道の死者数は、平成20年の27人をピークに、14～16人で増減を繰り返している。
 ○ 人身事故500件あたりの死者数は、平均で5.1人となっており、全国平均の3.1人を大きく上回っている。

2 交通死亡事故の特徴（過去5か年累計～86人）

**6月は、郊外の国道における最高速度違反に起因する正面衝突、市街地交差点での人対車両の事故が多発している。
 また、飲酒を伴う事故も多くなっている。**

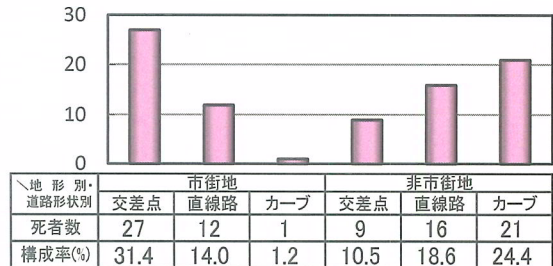
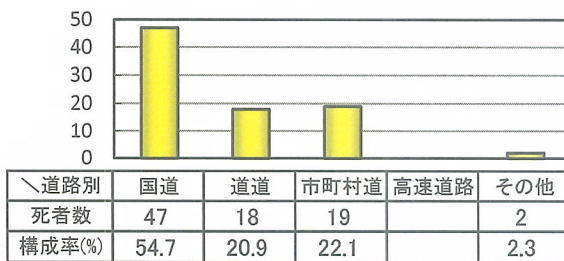
(1) 時間別、旬間別

- 時間別：14～16時が最も多く、次いで12～14時が多くなっている。14～16時と12～14時は正面衝突が多い。
- 旬間別：上旬が最も多く、次いで下旬となっている。上旬は夜間事故が多い。



(2) 道路別、地形別・道路形状別

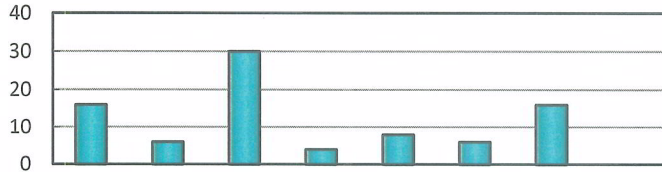
- 道路別：国道が最も多く、次いで市町村道となっている。国道は12～14時、市町村道は14～16時と18～20時が多くなる。
- 地形別・道路形状別：市街地の交差点と非市街地のカーブが多く、市街地の交差点は人対車両、非市街地のカーブは正面衝突が多い。



道路別 \ 時間別	00-02	02-04	04-06	06-08	08-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	多発警察署
国 道	3	3	1	5	3	1	9	7	6	3	3	3	47	9人 帯広署 7人 旭川東署 6人 北署 5人 俱知安署 4人 東署 小樽署 苫小牧署
多 5号線	1				1		1		3	1		1	8	
発 12号線			1					1	1			1	4	
路 230号線		1		1				3					5	
線 274号線				1			3				1		5	
道 道	1			1	2	2	1	3	2	4		2	18	
市 町村道	1	2	2	1	2	2	1	3	1	3	1		19	

(3) 事故類型別

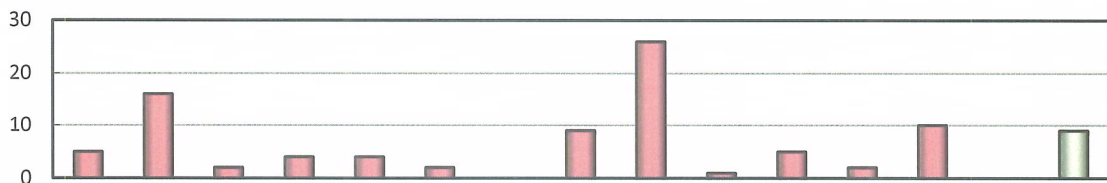
- 正面衝突が最も多く、次いで人対車両と車両単独が多い。
- 正面衝突は前方不注意と最高速度違反が多く、人対車両と車両単独は前方不注意が多い。



＼類型別	人×車両	自転車×車両	正面衝突	追突	出会い頭	他車両相互	車両単独	その他
死者数	16	6	30	4	8	6	16	
構成率(%)	18.6	7.0	34.9	4.7	9.3	7.0	18.6	

(4) 第1当事者の違反別

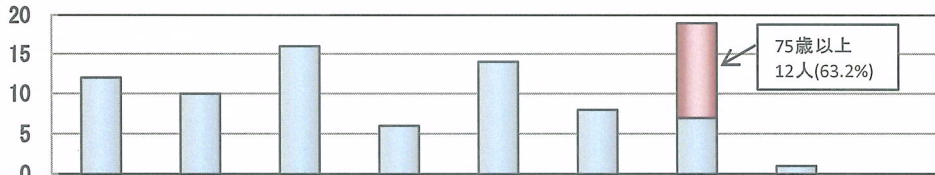
- 第1当事者の違反別では、前方不注意が最も多く、次いで最高速度違反が多い。
- また、酒酔い・酒気帯び運転による死者も多くなっている。



＼違反別	酒酔い	最高速度	追越し等	歩行者妨害	信号無視	一時不停止	過労運転	安全運転義務違反				その他	うち酒気帯	
								操作不適	前方不注意	動静不注意	安全不確認			
死者数	5	16	2	4	4	2		9	26	1	5	2	10	9
構成率(%)	5.8	18.6	2.3	4.7	4.7	2.3		10.5	30.2	1.2	5.8	2.3	11.6	10.5

(5) 第1当事者の年齢別

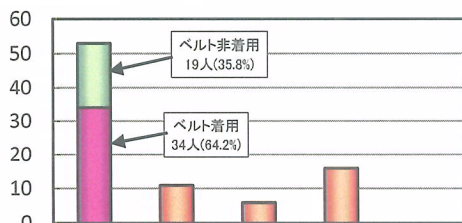
- 第1当事者の年齢別では、65歳以上が最も多く、次いで30歳代が多い。
- 65歳以上は前方不注意が多く、30歳代は最高速度違反が多い。



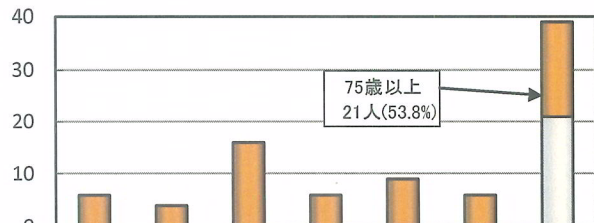
＼年齢別	運 転 者							歩行者 自転車	不明
	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上		
死者数	12	10	16	6	14	8	19	1	
構成率(%)	14.0	11.6	18.6	7.0	16.3	9.3	22.1	1.2	

(6) 死者の状態別、年齢別

- 死者の状態別：自動車乗車中が最も多く、次いで歩行者が多い。
- シートベルト：自動車乗車中死者53人のうち、シートベルト非着用者は19人(35.8%, 運転者13人, 助手席1人, 後部席5人)で、このうち11人(57.9%, 運転者7人, 助手席1人, 後部席3人)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 死者の年齢別：65歳以上が最も多く、次いで30歳代が多い。
- 高齢者の特徴：自動車運転中が13人(第1当事者10人、第2当事者3人)で、同乗中が8人となっている。歩行者が12人で、うち男5人、女7人、運転免許取得者が1人、夜光反射材着用者が1人、横断方向は右→左が6人、左→右が5人となっている。



＼状態別	自動車乗車	二輪車乗車	自転車	歩行者	その他
死者数	53	11	6	16	
構成率(%)	61.6	12.8	7.0	18.6	



＼年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上
死者数	6	4	16	6	9	6	39
構成率(%)	7.0	4.7	18.6	7.0	10.5	7.0	45.3